

発行・編集 ミニコミ編集委員会  
責任者 齋藤和子  
事務局 船橋まちづくりセンター  
電話 3482-0341  
2013. 3 特集号



まちの目が  
安全・安心を守っています  
船橋地区町会・自治会連合会  
船橋地区身近なまちづくり協議会  
青少年船橋地区委員会 成城警察署 成城防犯協会



# ちとせ



## 「人と人のつながりを — 近隣の方たちと話してみませんか」

### 蛭とびかう千歳村から

### 住宅地への変化の時代

座談会  
「船橋・千歳台で生まれ育ち年を重ねた方々に  
昔のお話しをお聞きする会」  
主催：「ミニコミ」ちとせ

今は住宅が密集する船橋・千歳台の街ですが、つい数十年前までは川が流れる田園地帯でした。今でもその面影はうかがえますね。

「ミニコミ」ちとせ編集部では、船橋・千歳台に生まれ育った4人の皆様にお集まりいただき、昔の話を聞き取る会を開きました。

当日は30人ほどの方が、貴重なお話を聞きました。

先人の歩まれた暮らしの歴史を胸に刻み、これからの船橋・千歳台を大切にしていきたいと思いました。

(実施日：平成24年9月24日月、船橋まちづくりセンター2階活動フロア)

話し手：  
池田 マツ子様 (大正11年生・船橋1)

高橋 久一様 (昭和3年生・八幡山1)

鈴木 光子様 (昭和5年生・船橋4)

一杉 武治様 (昭和6年生・千歳台6)

進行：齋藤 和子  
聞き手：古我 照彦 (ミニコミちとせ編集長)

〇塚戸小学校に通った頃  
池田：徒歩で40分くらいかけて、塚戸小学校に通いました。当時は地域の人がかつても温かくて、雪の日には通学路の道を雪かきをし、夏は途中で冷たい井戸水を飲ませてくださり、雨が降れば雨傘を貸してくださいました。先生も家では農家をなさっていました。廻沢の久保池先生は身だしなみの良い方で、行儀作法や裁縫を教わりました。私は和裁を一生懸命にやっ



高橋 久一さん

科と研究科に進むことができ、家族のものは何でも縫いました。

数年間、年に二回ほど、久保池先生と同級生が集まって、千歳船橋駅近くの中華料理店「楼蘭」でクラス会をしていました。同級生はいくつになっても懐かしく、今でも手紙のやり取りを続けているんですよ。

高橋：私も塚戸小学校でした。当時は、雨が降ると道路が川のようになり、青年団の皆さんが縄を張って通り道を作ってくれていました。

鈴木：私も昭和12年に塚戸小学校に入学しました。朝、砂利道を10人くらいで学校に通ってました。「ほむら(ほむら)の道」「なかだいの道」は、道なき道でした。帰りは学年別で帰るので、上級生がいなくてよかったんですよ。昔もいじめはありませんでしたが現在のようないじめはありましたが、その場限りで、弱いものが多い返すこともしていました。ガキ大将がリードしてやり返したりもして、安心して登校できました。子どもたちが助け合っていて、自立していたように思います。(ほむらの道・なかだいの道は裏面地図参照)

鈴木：私は一杉さんと同級生でした。4年生までは男女共学で、5・6年は別学になりました。

一杉：私も塚戸小学校に通ってました。学校には奉安殿があり、教育勅語を覚えさせられました。自分は家が学校のすぐ近くだったので、用務さんがカラコンコンと鐘を鳴らしてから走って行っても間に合っただけです。お昼は家に帰って食糧を食べ、家の手伝いをしてからまた学校に行ったもので

### 〇小田急線の千歳船橋駅ができた頃

池田：戦中は、農家には作物があるので、大根めしは食べずに済みました。ただ、小田急線が通り、都会に通勤する人が駅から帰る時に、おいしそうなおかずの包みを持っているのを見ると



池田 マツ子さん

### 年表

昭和	大正	元号年
42	11	世田谷区
41	10	田園都市計画による住宅地田圃調布売り出される
37	6	世田谷村↓町になる
35	4	関東大震災
34	3	メートル法実施
32	2	治安維持法、普通選挙法制定
31	1	治安維持法、普通選挙法制定
30	14	玉川電気鉄道支線 (現世田谷線 三軒茶屋・下高井戸)
29	13	玉川電気鉄道 駒沢村↓町に
28	12	玉川電気鉄道 静嘉堂文庫↓芝高輪から砧村岡本へ
27	11	参考事項・地域情報と船橋町・千歳女性部
26	10	池田マツ子さん生れる
25	9	池田マツ子さん生れる
24	8	池田マツ子さん生れる
23	7	池田マツ子さん生れる
22	6	池田マツ子さん生れる
21	5	池田マツ子さん生れる
20	4	池田マツ子さん生れる
19	3	池田マツ子さん生れる
18	2	池田マツ子さん生れる
17	1	池田マツ子さん生れる
16	1	池田マツ子さん生れる
15	1	池田マツ子さん生れる
14	1	池田マツ子さん生れる
13	1	池田マツ子さん生れる
12	1	池田マツ子さん生れる
11	1	池田マツ子さん生れる
10	1	池田マツ子さん生れる
9	1	池田マツ子さん生れる
8	1	池田マツ子さん生れる
7	1	池田マツ子さん生れる
6	1	池田マツ子さん生れる
5	1	池田マツ子さん生れる
4	1	池田マツ子さん生れる
3	1	池田マツ子さん生れる
2	1	池田マツ子さん生れる
1	1	池田マツ子さん生れる

いい匂いがしてきて、「何が入っているのかな？」と  
うらやましかったですね。

鈴木：お弁当は質素で、麦と米が半々くらい。おかず  
は、沢庵、梅干しくらい。メザシが月に一回くらい。  
野菜と言えば、漬物やおひたしくらいでした。

高橋：アルミの弁当箱を、何年も使っていたので梅干  
しの酸で穴が開いてしまいました。のり弁に梅干し。  
戦前・戦中は物資の配給がありました。戦後は食べ  
るものがなかった。当時は米が一升150円。給料は500円  
の時代でした。

一杉：大正12年、父親が分家しました。当時は農家と  
酒屋を営んでおり、今も燃料店は続いています。正月  
の前には餅をつき、正月三が日は餅を食べていまし  
た。学校の弁当に餅を持って行って、みんなで食べら  
れることの喜びを、実感していた時代でした。

池田：昭和2年に小田急線が開通しました。工事をし  
ている頃、女の子は作業をしている人夫と話してい  
けないと言われました。男の子たちは工事用のトロ  
ツロに乗せてもらっていましたね。鉄道の開通式の時  
、本家が紋付を着て、出かけて行きました。電車に乗  
るのはあこがれで、私たちは東京の方にはほとんど行  
けなかったです。

鈴木：私も電車にはほとんど乗らなかったですね。父  
親がタクシー会社を経営していたので、車にはよく乗  
っていました。地元・船橋の池田門兵衛さんが土地  
を寄付されたので、千歳船橋の駅名がつけられたので  
す。

高橋：自分も電車に乗った記憶がありませんね。  
当時の子どもはほとんど乗らなかった。船橋駅近くに  
品川用水があり、粕谷あたりから分流する小川があっ  
た。品川用水は、千歳船橋駅付近から千歳通り↓農大  
↓馬事公苑↓品川へと続いていた。久我山病院付近に  
玉川上水から分水する箇所があり、品川用水、烏山川、  
北沢川に水を流していた。

一杉：川にはどじょう、鮒などがたくさんいました。  
黒い大きな貝もいました。戦争中、雨で湖のような広  
い池ができてしまうこともありましたが、塚戸十字路か  
ら榎までが、水に浸かってしまうほどでした。水害の  
辛さは身に試みえています。

自分の家の前に石橋があり、そこを防空壕にしていま  
した。他の家では敷地内に防空壕を作っていました。

池田：品川堀（用水）の水は少なかったですね。川岸  
には山百合がよく咲いていました。作業の日を決めて  
近所の人が繰出で、川遊びをしていました。人を出せ  
ない家には、罰金が科せられたように記憶しています。  
その罰金でお酒を買って、みんなの労をねぎらってい  
ました。昭和3〜4年頃、駅の近くでは蛍がよく飛ん  
でいました。小学生の頃は蚊帳の中から蛍を見た記憶  
があります。

年頃になると、駅に利用者がいると、畑仕事をし  
ているのを見られているようで恥ずかしかったです。

### ○戦後農協婦人 部で活躍した女 性たち

池田：戦後は政治  
も社会も変わっ  
て、農家には婦人  
部が組織されま  
した。電改革、工  
場見学、アパート  
見学、共同購入、  
料理講習会など



鈴木 光子さん

はいつも参加者  
が多かったもの  
です。農家の女性  
にとっては、有意  
義な時代の到来  
でした。「家の光」  
でヘルパーの講  
習を受けたりし  
ました。私は昭和  
56年ごろから、木  
彫を習い今でも  
続けています。



一杉 武治さん

農協婦人部（旧千歳村。廻沢、粕谷、八幡山、給田、  
上祖師谷、船橋、烏山の7村）では、共通の祀りこと  
がありました。主なものをお話しします。私は今でも  
続けております。

- 1月…三が日、七草、小豆粥、恵比須講
- 2月…節分、初午
- 3月…お雛祭り、お彼岸（7日間）
- 4月…お釈迦様（花まつり）、草もち作り
- 5月…お節句、菖ごはち
- 7月…25日か26日頃農休み
- 8月…お盆
- 9月…9／1八朔の日、お彼岸
- 10月…お祭り（神明神社）
- 11月…\*いのこ・\*荒神様の日。牡丹餅、恵比須講商  
売繁盛・豊作を祝って尾頭付き生魚お供え
- 12月…針供養（12月8日）世田谷代田の神社、もち  
つき、年越しそば

\*いのこ…①旧暦10月に万病除去や子孫繁栄を願う行事。  
②収穫祭で田の神様が去る日。  
\*荒神様…竈（かまど）の神様

### ○農地解放―土地の分配の苦労

鈴木：観音堂の前に住んでいて、小川が流れており、  
小学校に入るまで畑が飛んでいました。終戦後の昭和  
22〜23年頃、農地改革（農地解放）がありました。  
私が高校生の時でした。地主さん20〜30人が毎晩う  
ちが集まって、土地を分配する相談が何ヶ月も続い  
ていました。欲と道連れで、なかなか決まらなかったの  
です。そんな時、大塚さんが「これは農地改革の前に  
人間改革をしないとだめだね」とおっしゃってみんな  
で大笑いしていました。そこから話し合いが進んで、  
実際にそこで働いている人が土地を分け合うことで、  
折り合ったのです。

一杉：農地改革は、昔の農家が解放された大きな出来  
事でした。一反300坪が千円くらいでした。誰もが一反  
でも余計に欲しいという気持ちを持っていて「いただ  
けるものはいただきたい」と、もめていたのです。そ  
の時、区会議員をしていたチツ子ちゃんのお父さんが  
話をまとめてくださいました。立派な方でした。

（古我：昭和20年代工場排水等により水質が悪化し田  
んぼが使えなくなりました。昭和30年代公団が約60人の  
地主から土地を買収し、その後5万6千平米の希望丘  
団地を建設。）

池田：昭和27年、「君の名は」が初めはラジオで放送  
され、翌年からテレビ放送となり、テレビのある家に  
みんなが集まって見ていました。また、ミュンヘンオ  
リンピックに出場したバレーボールの森田選手が恩  
師に金メダルを見せに来られ、我が家の子どもにも金メ  
ダルを触らせてくれたことがありました。

### ○「区画整理ができて良かったなあ」

高橋：昭和42年希望丘区画整理事業が始まりました。初め  
は総代を務め、後に設計工事担当理事になりました。

認可になるまで、もめごとが多くて大変でした。「都  
市計画をして立派な区画に」と地主に説明して回りま  
した。最後には、約70パーセントの土地を区画整理す  
ることができ、バスも通りました。船橋・千歳台に公  
園を11か所造りました。いま、希望丘の公園を散歩し  
ていると、区画整理ができて良かったなあ、と実感し  
ています。当時は静かで、府中の明神太鼓が聞こえ、  
遠く船の汽笛も聞こえてきました。

鈴木：烏山川では魚もたくさんいて、子どもたちは川  
で泳いでいました。現在の「船橋小径」のあたりは、  
家がなくて、畑と林でした。葎や葎が茂り、ヨシキリ  
が飛んでいました。そんな農村にとって、区画整理は  
画期的な「まちづくり」事業でした。昭和30年ごろ、  
葎の生える窪地だった  
ところに千歳丘高校が  
できました。千歳丘高  
校の文化祭は「美稲祭」  
（うましねさい）と名  
付けられていて、農村  
の面影がありますね。



高橋：子どもの頃の風  
景といえば、大川（烏  
山川）の大橋あたりで  
遊んだこと。親には、  
危ないからと、禁止さ  
れていたけれど、鮒も鮎も、ミミズで簡単に取れたん  
です。どじょうをとって食べた記憶もあります。近く  
に戸田子爵さんのお屋敷があったので林が茂っていたの  
で、ターザンのように渡って遊びました。夏はカブトム  
シがいっぱいいたので、喧嘩をさせて遊びました。

一杉：千歳村7村の農家の暮らしは、どこも似たり寄  
りでした。当時は肥溜めがあり、畑の肥料として  
使っていました。当時の子どもたちは、学校から帰る  
とみんな家の手伝いをしていたので、私も経堂近くま  
で肥を集めに行きました。同級生に会うと顔を下に向  
けて歩いていました。同じ農家の子どもたちに「廻沢  
の人が経堂まで来るのか」などはやされたものです。  
その頃の粕谷は人家もまばらで一部湿地帯があり  
ましたが、ガスタンクができた頃から農家の生活が変  
わってきました。麦わらや茅葺の屋根を瓦に直し、こ  
近所の勤め人の人たちと同じようなものが食べられ  
るようになってきたのです。いい時代になりました。  
昔に比べると、今の人たちは大変幸せだと思います。

（終）

